

水引小学校スタートカリキュラム

1 スタートカリキュラムの基本的な考え方

- 幼児期の学びや資質・能力、子供一人一人の発達や学びの様子を生かしながら学校生活を楽しむことができるようにする。【ゼロからのスタートじゃない！】
 - 「幼児期の教育で育まれた資質・能力」をさらに伸ばす。
 - 「わかる」「できる」「楽しい」を実感できる活動を設定する。
- 生活科を中心に合科的・関連的な指導の充実を図るとともに、弾力的な時間割の設定を工夫する。
 - 「なかよしタイム」「わくわくタイム」の設定

安心して過ごせることに主眼を置いた活動	
なかよしタイム	朝の支度 登校後、6年生の見守りで準備 支度がすんだら自由遊び
	朝の活動 健康観察、幼児教育で経験した遊びや歌遊び、運動遊び、読み聞かせや教科の学習的要素を取り入れた活動
わくわくタイム	合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習 合科的指導：教科のねらいを一つに束ねた単元計画での指導 関連的指導：個々の教科のねらいを関連付けた指導
教科指導の工夫	次第に教科を中心とした学習へ移行

- 安心して自ら学びを広げていけるような学習環境を整える。
 - 幼児教育の「環境を通して行う教育」に学ぶ。(空間の工夫)
- 適応指導は、幼児期の教育の経験を生かしながら、子供と話し合いながら進める。
 - 「幼稚園(保育園)ではどうだった？」
- 実施期間は、子供の実態に応じて1か月程度とする。

2 入学後に身に付けさせたいこと

※ 【 】は関連する幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

身に付けさせたいこと		1週目	2週目	3週目	4週目
関 わ る 力	学校にはいろいろな先生がいることが分かる。 【社会生活との関わり】	—————▶			
	学校の先生たちと挨拶をしたり話したりすることができる。 【道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合い】	—————▶			
	友達と話したり遊んだりすることができる。 【健康な心と体、言葉による伝え合い】	—————▶			
	友達と協力して共通の学習課題に取り組むことができる。 【協同性、言葉による伝え合い】	—————▶			
	自分の体調の変化や困っていることを、担任や養護教諭に申し出ることができる。 【健康な心と体、言葉による伝え合い】	—————▶			
	上級生とふさわしい関係で接することができる。 【社会生活との関わり】	—————▶			
学 ぶ 力	元気よく「はい」の返事をする事ができる。 【自立心】	—————▶			
	先生や友達の話を聞くことができる。 【言葉による伝え合い】	—————▶			
	学習の準備の仕方が分かる。 【健康な心と体、自立心】	—————▶			
	指示された活動を行うことができる。 【自立心】	—————▶			
	文字や数に興味をもって学習にのぞむことができる。 【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】	—————▶			
	友達の発表を聞いたり、自分が発表したりするときの約束を守って発表し合うことができる。【自立心、言葉による伝え合い】	—————▶			

	45分間活動に参加し続けることができる。 【自立心】					→
生活する力	トイレの場所や使い方が分かる。 【健康な心と体】					→
	決められた靴箱やロッカーを使うことができる。 【規範意識・道徳性の芽生え】					→
	休み時間に、トイレ、水飲み、手洗い等の必要なことを済ませることができる。 【健康な心と体】					→
	安全な移動の仕方が分かり、正しく廊下歩行することができる。 【健康な心と体、規範意識・道徳性の芽生え】					→
	朝の準備や帰りの準備を自分ですることができる。 【自立心】					→
	交通ルールやマナーを守って、安全に登下校できる。 【健康な心と体、規範意識・道徳性の芽生え】					→
	〇〇順で整列することができる。 【自立心】					→
	靴のかかとを揃えることができる。 【自立心】					→
	ハンカチ・ちり紙を自分で持って来る。 【健康な心と体】					→
	安全に気を付けて遊ぶことができる。 【健康な心と体】					→
	脱いだ衣服等の整理整頓ができる。 【自立心】					→
	引き出しや棚の整理の仕方が分かる。 【自立心】					→
	給食の準備や片付けの仕方が分かる。 【健康な心と体】					→
	時間を見て行動する等、時間を意識して行動することができる。 【健康な心と体】					→

3 週ごとのテーマとねらい

週	行事	テーマ	ねらい
1	入学式 給食開始	はじめまして みず ひきしょうがっこう 【安心感】	・小学校の生活や施設を知り、安心して生活する。 ・先生や友達と挨拶をしたり話をしたりする。 ・名前を呼ばれたときの返事や挨拶が元気よくできるようにする。
2	身体計測 視力・聴力検査 家庭訪問	がっこうだいすき たのしいな 【期待感】	・必要なきまりや約束を覚えながら楽しく安全に過ごす。 ・友達と仲良く遊ぶ。 ・交通ルールやマナーを守って、安全に登下校する。
3	家庭訪問 交通安全教室	たのしいこと いっぱい 【満足感】	・学校の様子や一日の過ごし方を身につける。 ・外遊びや自己紹介ゲームを通して友だちとの関わりを広げる。 ・係の仕事への参加を通して小学校への所属感を高める。
4	家庭訪問	おべんきょうも がんばるぞ 【有能感】	・文字を書いたり、数を数えたりして教科の学習について知る。 ・学習用具の準備ができる。 ・校内のどこに何があるかが分かり、約束を守って利用することができる。

4 幼児期からの育ちや学びを生かす大単元カリキュラムの構想

(1) 単元一覧表の作成

遊びを総合的な学びとして経験してきた子供たちにとっては、時間割ごとに教科学習が入れ替わるのは大きな変化である。そこで、生活科を中核として、各教科のどの単元と関連付けて学習を構成できるかを考えた単元一覧表を作成し、大単元を構想する。

(2) 学習内容の整理

単元一覧表を基に、生活科の「わくわくどきどき しょうがっこう」を軸にして、各教科等で関連する学習内容を整理する。その上で、生活科と各教科等の関連を踏まえ、それぞれのねらいをより効果的に実現するためにカリキュラムの配列を考え、週案を作成する。

【国語科】 気付いたことを言葉に表す。話を聞く。	【国語科】 自己紹介カードを作って友達と交流する。	【国語科】 友達との伝え合いを楽しむ。
【算数科】 身の回りの数量に関心をもつ。	【生活科】 「せいかつかがはじまるよ」 「わくわくどきどき しょうがっこう」 ・ 小学校生活への期待をもつ。 ・ 学校の施設や先生、友達のことが分かる。 ・ 生活上必要や習慣や技能を身に付ける。	【音楽科】 友達と一緒に歌ったり踊ったりする。
【道徳科】 気持ちのよい挨拶をすることやよいと思ったことを進んで行うことの大切さに気付く。		【図画工作科】 好きなものや伝えたいことを絵に表す。
【特別活動】 教室や施設の場所、使い方をを知る。	【体育科】 遊具の使い方や並び方を知る。運動遊びや体づくり遊びをする。	【学校行事】 身体計測、視力・聴力検査、交通安全教室

5 安心感をもって自己発揮できる学習環境の工夫

(1) 見通しがもてる工夫

朝の支度の順序、1日の流れ、活動の手順などを分かりやすく掲示しておくことで、自分で時計を見て、時間を意識しながら生活できるようにする。

※ 教室前面は、できるだけシンプルにし、集中力を高める配慮をする。

(2) 安心できるスペースの確保

教室内に、自分で選択して活動し、緊張をほぐすことができるようなフリースペースを設ける。

(3) 自ら学びを見つける工夫

学習に活用することができる本や資料を常設したり、学びの足跡を掲示したりすることで、学習のきっかけが生まれるようにする。

(4) 仲間作りができる机の配置

4～6人程度のグループ机で過ごしてきた幼児期のように、机を寄せ合い、集団での活動を促すことにより、友達との距離が縮まり、協働的に学びに向かうことができるようにする。

(5) 自分の力で取り組める掲示の工夫

教師による指示がなくても、見て分かるように、文字やイラスト、図、写真等で掲示（ICTの効果的活用を含む）し、自力で取り組み、できた喜びを味わえるようにする。